平成24年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年２月10日

上 場 会 社 名　　ナカバヤシ株式会社　　上場取引所　　東・大
コ ー ド 番 号　　7987　　URL　http://www.nakabayashi.co.jp/
代　　表　　者　(役職名)　取締役社長　　(氏名)　辻村　肇
問合せ先責任者　(役職名)　取締役管理統括本部長(氏名)　作田　一成　　(TEL)06-6943-5555

四半期報告書提出予定日　　平成24年２月13日　　配当支払開始予定日　　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成24年３月期第３四半期の連結業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	34,583	0.4	446	64.5	589	23.8	46	△69.8
23年３月期第３四半期	34,460	0.3	271	△39.3	476	△15.4	152	△13.0

(注) 包括利益 24年３月期第３四半期　△212百万円(　―%) 23年３月期第３四半期　△130百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年３月期第３四半期	0.83	―
23年３月期第３四半期	2.74	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	42,594	18,176	41.3
23年３月期	43,517	18,724	41.6

(参考) 自己資本 24年３月期第３四半期　17,584百万円　　23年３月期　18,089百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年３月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年３月期	―	3.00	―		
24年３月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成24年３月期の連結業績予想（平成23年４月１日～平成24年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	2.8	1,200	50.0	1,400	30.5	500	19.6	8.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

４．その他

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年３月期３Ｑ	61,588,589株	23年３月期	61,588,589株
②　期末自己株式数	24年３月期３Ｑ	5,862,703株	23年３月期	5,858,476株
③　期中平均株式数（四半期累計）	24年３月期３Ｑ	55,728,275株	23年３月期３Ｑ	55,735,743株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、４ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報(3)　連結業績予想等に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・2

(1)　連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・3
(3)　連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・4

２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・4

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・・・・4
(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・4

３．四半期連結財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・5

(1)　四半期連結貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・5
(2)　四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・7
(3)　継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・9
(4)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・9

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

（単位：百万円）

	平成23年３月期 第３四半期	平成24年３月期 第３四半期	増減額
売上高	34,460	34,583	122
営業利益	271	446	175
経常利益	476	589	113
四半期純利益	152	46	△106

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の停滞から企業の生産活動や個人消費の緩やかな回復により持ち直しの兆しがみられるものの、欧州の債務問題を背景とした世界経済の減速や株安、円高の定着などにより、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは創立60周年の節目となる年を迎え、60周年フェア、キャンペーン、広告、見本市への出展など積極的な営業活動を展開してまいりました。製品販売部門のステーショナリー関連事業は、デジタル文具などの新製品の販売が好調で業績は順調に推移いたしました。受注部門である印刷製本関連事業はペーパーレス化の波による市場環境の変化に柔軟に対応するため、新たな事業モデルの構築に取り組んでまいりました。また不採算の連結子会社のロアス株式会社を平成23年６月末に解散し、採算面の向上に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比0.4％増の345億83百万円となりました。

一方利益面では、原価率が横ばいで推移いたしましたが、売上高の増加により売上総利益は増加し、また販売費及び一般管理費も減少したため、営業利益は４億46百万円（前年同四半期比64.5％増）、経常利益は５億89百万円（前年同四半期比23.8％増）と増益となりました。

また、特別利益は投資有価証券売却益など、合計で１億27百万円を計上し、特別損失は固定資産処分損など、合計で79百万円を計上いたしました。この結果、税金等調整前四半期純利益は６億37百万円（前年同四半期比49.5％増）と増益となりましたが、税率変更により費用計上された法人税等調整額が増加し、法人税等税負担調整後の四半期純利益は46百万円（前年同四半期比69.8％減）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本につきましては、「図書館総合展」に出展するなど図書館からの受託業務に取り組むとともに、資料保存やデジタル化などの拡充に努めましたが、製本需要の縮小により売上高、受注高は減少し厳しい状況にあります。ビジネスフォームにつきましては、ＢＰＯの推進と大口物件の受注に注力し採算性は改善いたしました。また手帳は新規顧客の開拓、市販手帳の拡大に注力いたしましたが、競争の激化により採算性は低下いたしました。

この結果、当事業の売上高は174億66百万円（前年同四半期比0.4％減）、営業利益は77百万円（前年同四半期比39.8％減）となりました。

②ステーショナリー関連事業

専門店、ＧＭＳ、雑貨専門店、カメラチェーン店などへの販売強化を引き続き図るとともに、ネット・通販への商材の強化や「フォトレコ」などのデジタル文具の拡販に取り組みました。また電子書籍サービス「コラブックストア」を新設し、個人やグループが気軽に電子書籍の共同作成や販売、閲覧ができるサービスを始めました。

連結子会社のフランクリン・プランナー・ジャパン株式会社はシステム手帳「フランクリン・プランナー」の直営店を東京八重洲地下街に出店し、業績も順調に推移しております。

この結果、当事業の売上高は98億59百万円（前年同四半期比5.8％増）、営業利益は３億84百万円（前年同四半期比39.5％増）となりました。

③環境事務機器関連事業

大型シュレッダにつきましては、循環型リサイクルシステムの事業を推進し環境関連製品の販売強化や新規顧客の開拓に引き続き注力いたしました。当社が提供する「機密文書の出張裁断サービス」が、「財団法人クリーン・ジャパン・センター会長賞」を受賞し循環型社会の構築に寄与するとの評価を受けております。中小型シュレッダにつきましては、引き続き大手民間企業を中心に直販強化に取り組み、堅調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は16億69百万円（前年同四半期比0.1％減）、営業損失は58百万円（前年同四半期営業損失64百万円）となりました。

④ＰＣ周辺機器関連事業

家電量販店向けのスマートフォン用のタッチペン、海外旅行先でのＰＣ周辺機器やグッズなどは好調に推移いたしましたが、テレビ関連製品の冷え込みによりＨＤＭＩケーブルなどの売上は減少いたしました。連結子会社のロアス株式会社を平成23年６月末に解散したことから、売上高は減少となりましたが、採算性は改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は23億１百万円（前年同四半期比15.0％減）、営業利益は38百万円（前年同四半期営業損失１百万円）となりました。

⑤ベビー＆シルバー関連事業

チャイルドシートは市場の冷え込みと低価格帯製品の競争激化により売上高は減少傾向にあります。一方高齢者向け福祉用具につきましては、機能性にファッション性をプラスしたシルバーカー３種を新発売するなど拡販に努めました。またメディカル部門では点滴スタンドや上肢台の販売強化に努めました。

この結果、当事業の売上高は14億71百万円（前年同四半期比3.0％増）、営業利益は82百万円（前年同四半期比11.9％減）となりました。

⑥その他

その他は、連結子会社の日達物流株式会社が営む貨物運送事業やウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業などであり、売上高は18億13百万円（前年同四半期比0.6％増）、営業利益は86百万円（前年同四半期比12.2％増）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて４億86百万円減少し、204億42百万円となりました。これは商品及び製品が６億67百万円、仕掛品が１億10百万円それぞれ増加しましたが、現金及び預金が13億31百万円、受取手形及び売掛金が１億14百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて４億37百万円減少し、221億52百万円となりました。これは土地が１億23百万円、ソフトウェア仮勘定（無形固定資産の「その他」）が１億11百万円それぞれ増加しましたが、投資有価証券（投資その他の資産の「その他」）が３億89百万円、建物及び構築物が１億76百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第３四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて９億23百万円減少し、425億94百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて１億38百万円減少し、154億35百万円となりました。これは未払金（流動負債の「その他」）が４億53百万円増加しましたが、短期借入金が３億81百万円、支払手形及び買掛金が２億28百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて２億36百万円減少し、89億82百万円となりました。これは、長期借入金が２億30百万円減少したことなどによります。

この結果、当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて３億75百万円減少し、244億17百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて５億47百万円減少し、181億76百万円となりました。これは利益剰余金が２億88百万円、その他有価証券評価差額金が２億２百万円それぞれ減少したことなどによります。

（自己資本比率）

当第３四半期連結累計期間末の自己資本比率は41.3％となり、前連結会計年度末に比べて0.3ポイント低下いたしました。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

平成23年５月２日発表時の通期業績予想の修正は行っておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

(1)　当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)　四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,641	3,309
受取手形及び売掛金	9,618	9,504
商品及び製品	3,914	4,581
仕掛品	848	958
原材料及び貯蔵品	1,172	1,264
その他	780	883
貸倒引当金	△48	△60
流動資産合計	20,928	20,442
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,458	5,281
土地	10,787	10,911
その他（純額）	2,905	2,810
有形固定資産合計	19,151	19,003
無形固定資産		
のれん	250	196
その他	273	393
無形固定資産合計	524	589
投資その他の資産		
その他	2,987	2,575
貸倒引当金	△73	△17
投資その他の資産合計	2,913	2,558
固定資産合計	22,589	22,152
資産合計	43,517	42,594

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,586	6,357
短期借入金	5,633	5,252
未払法人税等	307	314
賞与引当金	485	348
その他	2,561	3,162
流動負債合計	15,573	15,435
固定負債		
長期借入金	5,331	5,101
退職給付引当金	3,454	3,596
役員退職慰労引当金	32	19
その他	400	265
固定負債合計	9,219	8,982
負債合計	24,792	24,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	3,711	3,423
自己株式	△1,333	△1,334
株主資本合計	17,784	17,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	265	63
繰延ヘッジ損益	6	△4
為替換算調整勘定	32	29
その他の包括利益累計額合計	304	88
少数株主持分	634	592
純資産合計	18,724	18,176
負債純資産合計	43,517	42,594

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	34,460	34,583
売上原価	25,359	25,435
売上総利益	9,100	9,147
販売費及び一般管理費	8,829	8,700
営業利益	271	446
営業外収益		
有価証券売却益	1	－
受取保険金	94	76
受取賃貸料	113	99
その他	203	146
営業外収益合計	412	322
営業外費用		
支払利息	120	91
有価証券売却損	0	－
貸与資産諸費用	39	37
その他	47	51
営業外費用合計	207	179
経常利益	476	589
特別利益		
固定資産売却益	21	0
投資有価証券売却益	17	116
その他	11	10
特別利益合計	51	127
特別損失		
固定資産処分損	10	40
投資有価証券評価損	29	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	56	－
その他	4	19
特別損失合計	100	79
税金等調整前四半期純利益	426	637
法人税、住民税及び事業税	264	466
法人税等調整額	30	168
法人税等合計	295	635
少数株主損益調整前四半期純利益	131	2
少数株主損失（△）	△21	△43
四半期純利益	152	46

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	131	2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△232	△201
繰延ヘッジ損益	△13	△10
為替換算調整勘定	△15	△3
その他の包括利益合計	△261	△215
四半期包括利益	△130	△212
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△103	△170
少数株主に係る四半期包括利益	△26	△42

(3)　継続企業の前提に関する注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

該当事項はありません。